

# 令和2年（確定値）

## 業種別死傷災害発生状況 及び 第13次労働災害防止計画（13次防）進捗状況

【※13次防対象期間：平成30年4月1日～令和5年3月31日】

【※13次防目標値：平成29年に比較して 2022年までに死傷災害5%減（各年目標は年1%減の累積値） 死亡災害各年25%減】

鹿児島労働局

業種別 死傷災害発生状況									
業種	年	令和2年		令和元年		対前年増減数		対前年増減率	
		死傷者数	死亡者数	死傷者数	死亡者数	死傷者数	死亡者数	死傷者数	死亡者数
全産業		2100	14	2010	15	90	-1	4.5%	-6.7%
1	製造業	378	2	385	2	-7	0	-1.8%	0.0%
	1 食料品製造業	211		224	1	-13	-1	-5.8%	-100.0%
	4 木材・木製品製造業	20		32		-12	0	-37.5%	
	9 窯業土石製品製造業	19		15	1	4	-1	26.7%	-100.0%
	11～12 金属製品製造業	27	1	32		-5	1	-15.6%	
	13～15 機械器具製造業	45		24		21	0	87.5%	
	上記以外の製造業	56	1	58		-2	1	-3.4%	
2	鉱業	3	0	2	0	1	0	50.0%	
3	建設業	305	3	312	6	-7	-3	-2.2%	-50.0%
	1 土木工事業	112	2	116	1	-4	1	-3.4%	100.0%
	2 建築工事業	159	1	159	4	0	-3	0.0%	-75.0%
	3 その他の建設業	34		37	1	-3	-1	-8.1%	-100.0%
4	運輸交通業	215	2	193	1	22	1	11.4%	100.0%
	1 鉄道・航空機業	7		7		0	0	0.0%	
	2 道路旅客運送業	14		6		8	0	133.3%	
	3 道路貨物運送業	194	2	178	1	16	1	9.0%	100.0%
	4 その他の運輸交通業	0		2		-2	0	-100.0%	
5	貨物取扱業	14	0	34	0	-20	0	-58.8%	
	1 陸上貨物取扱業	4		8		-4	0	-50.0%	
	2 港湾運送業	10		26		-16	0	-61.5%	
6	農林業	104	2	104	2	0	0	0.0%	0.0%
	1 農業	53		47	1	6	-1	12.8%	-100.0%
	2 林業	51	2	57	1	-6	1	-10.5%	100.0%
7	畜産・水産業	101	1	101	0	0	1	0.0%	
8	商業	269	3	280	1	-11	2	-3.9%	200.0%
	1 卸売業	41		53	1	-12	-1	-22.6%	-100.0%
	2 小売業	190	3	207		-17	3	-8.2%	
	3 理美容業	4		2		2	0	100.0%	
	4 その他の商業	34		18		16	0	88.9%	
9	金融・広告業	18	0	15	0	3	0	20.0%	
11	通信業	33	0	19	0	14	0	73.7%	
12	教育・研究業	30	0	22	0	8	0	36.4%	
13	保健衛生業	368	0	288	0	80	0	27.8%	
	1 医療保健業	158		114		44	0	38.6%	
	2 社会福祉施設	202		171		31	0	18.1%	
	3 その他の保健衛生業	8		3		5	0	166.7%	
14	接客娯楽業	103	0	118	0	-15	0	-12.7%	
	1 旅館業	26		30		-4	0	-13.3%	
	2 飲食店	44		60		-16	0	-26.7%	
	3 その他の接客娯楽業	33		28		5	0	17.9%	
上記以外の事業		159	1	137	3	22	-2	16.1%	-66.7%
	10 映画・演劇業	0		0		0	0		
	15 清掃・と畜業	76		78	2	-2	-2	-2.6%	-100.0%
	16 官公署	2		1		1	0	100.0%	
	17 その他の事業	81	1	58	1	23	0	39.7%	0.0%
陸上貨物運送事業（4-3-5-1）		198	2	186	1	12	1	6.5%	100.0%
第三次産業（8～17）		980	4	879	4	101	0	11.5%	0.0%

13次防目標値 進捗状況					
令和2年 目標値		対目標値 増減数		対目標値 増減率	
(死傷者数の目標値は平成29年確定 値の3%減、死亡者数の目標値は同 25%減の数値としている)				(死傷者数・死亡者数ともに、 以下の数値が0%以下のマイ ナス値となった場合は目標値を 達成していることを示す)	
死傷者数	死亡者数	死傷者数	死亡者数	死傷者数	死亡者数
1902	15	198	-1	10.4%	-6.7%
366	1	12	1	3.3%	150.0%
229	1	-18	-1	-7.9%	-100.0%
25		-5		-20.0%	
18		1		5.6%	
29		-2		-6.9%	
20		25		125.0%	
44		12		27.3%	
6	0	-3	0	-50.0%	
303	7	2	-4	0.7%	-57.1%
114	2	-2	1	-1.8%	33.3%
139	3	20	-2	14.4%	-66.7%
49	2	-15	-2	-30.6%	-100.0%
183	2	32	0	17.5%	-13.0%
11		-4		-36.4%	
16		-2		-12.5%	
156	2	38	1	24.4%	33.3%
1		-1		-100.0%	
31	1	-17	-1	-54.8%	-100.0%
10		-6		-60.0%	
21	1	-11	-1	-52.4%	-100.0%
100	1	4	1	4.0%	150.0%
53		0		0.0%	
47	1	4	1	8.5%	150.0%
101	1	0	0	0.0%	25.0%
243	1	26	2	10.7%	200.0%
38		3		7.9%	
178	1	12	2	6.7%	200.0%
3		1		33.3%	
25		9		36.0%	
22	0	-4	0	-18.2%	
17	0	16	0	94.1%	
19	0	11	0	57.9%	
273	0	95	0	34.8%	
106		52		49.1%	
161		41		25.5%	
6		2		33.3%	
112	0	-9	0	-8.0%	
26		0		0.0%	
58		-14		-24.1%	
27		6		22.2%	
126	1	33	0	26.2%	0.0%
68	1	8	-1	11.8%	-100.0%
58		23	1	39.7%	
166	2	32	1	19.3%	33.3%
813	2	167	2	20.5%	100.0%

- 死傷者数は、令和2年12月未までに発生した労働災害の被災者を令和3年4月7日締めで集計したものの。
- 死傷者数は、労働者死傷病報告のうち休業見込み日数が4日以上の災害によるもので、死亡者を含みます。
- 死亡者数は、各労働基準監督署の調査等により把握したもので、労働者死傷病報告が未提出の場合もあります。
- 下段の陸上貨物運送事業（4-3-5-1）及び第三次産業（8～17）は、別計。
- 13次防目標値については1未満の端数値を四捨五入処理しているため、業種合計値ないし全産業合計値が一致しない場合があります。

# 令和2年（確定値）

## 業種別 事故の型別・年齢別死傷災害発生状況

鹿児島労働局

事故の型別									年齢別							
業種	順位	令和2年		人数	割合	順位	令和元年		人数	割合	増減数	令和2年		令和元年		人数
		人数	割合				人数	割合				人数	割合			
全産業	1	転倒	497	23.7%	1	転倒	442	22.0%	~19歳	42	2.0%	30	1.5%	12		
	2	墜落・転落	410	19.5%	2	墜落・転落	367	18.3%	20歳~29歳	202	9.7%	223	11.1%	-21		
	3	動作の反動・無理な動作	284	13.5%	3	動作の反動・無理な動作	276	13.7%	30歳~39歳	285	13.8%	312	15.5%	-27		
	4	はさまれ・巻き込まれ	166	7.9%	4	はさまれ・巻き込まれ	240	11.9%	40歳~49歳	416	20.1%	351	17.5%	65		
	5	切れ・こすれ	146	7.0%	5	切れ・こすれ	140	7.0%	50歳~59歳	506	24.4%	471	23.4%	35		
									60歳~	649	31.3%	623	31.0%	26		
製造業	1	転倒	109	28.8%	1	はさまれ・巻き込まれ	95	24.7%	~19歳	11	2.9%	5	1.3%	6		
	2	墜落・転落	62	16.4%	2	転倒	73	19.0%	20歳~29歳	38	10.2%	54	14.0%	-16		
	3	はさまれ・巻き込まれ	54	14.3%	3	墜落・転落	59	15.3%	30歳~39歳	54	14.4%	57	14.8%	-3		
	4	切れ・こすれ	42	11.1%	4	切れ・こすれ	34	8.8%	40歳~49歳	78	20.9%	75	19.5%	3		
	5	動作の反動・無理な動作	34	9.0%	5	動作の反動・無理な動作	26	6.8%	50歳~59歳	93	24.9%	72	18.7%	21		
									60歳~	104	27.8%	122	31.7%	-18		
建設業	1	墜落・転落	97	31.8%	1	墜落・転落	104	33.3%	~19歳	6	2.0%	6	1.9%	0		
	2	飛来・落下	36	11.8%	2	切れ・こすれ	40	12.8%	20歳~29歳	34	11.3%	40	12.8%	-6		
	3	転倒	29	9.5%	3	はさまれ・巻き込まれ	31	9.9%	30歳~39歳	47	15.6%	44	14.1%	3		
	4	はさまれ・巻き込まれ	28	9.2%	4	転倒	29	9.3%	40歳~49歳	55	18.3%	54	17.3%	1		
	5	切れ・こすれ	24	7.9%	5	飛来・落下	28	9.0%	50歳~59歳	56	18.6%	65	20.8%	-9		
									60歳~	107	35.5%	103	33.0%	4		
陸上貨物運送事業	1	墜落・転落	61	30.8%	1	墜落・転落	57	30.6%	~19歳	2	1.0%	3	1.6%	-1		
	2	動作の反動・無理な動作	37	18.7%	2	動作の反動・無理な動作	28	15.1%	20歳~29歳	14	7.1%	17	9.1%	-3		
	3	転倒	24	12.1%	3	転倒	24	12.9%	30歳~39歳	25	12.7%	30	16.1%	-5		
	4	激突	19	9.6%	4	はさまれ・巻き込まれ	19	10.2%	40歳~49歳	48	24.4%	38	20.4%	10		
	5	交通事故（道路）	15	7.6%	5	激突	13	7.0%	50歳~59歳	71	36.0%	59	31.7%	12		
									60歳~	38	19.3%	39	21.0%	-1		
林業	1	激突され	20	39.2%	1	激突され	14	24.6%	~19歳			1	1.8%			
	2	墜落・転落	8	15.7%	2	切れ・こすれ	13	22.8%	20歳~29歳	6	12.0%	6	10.5%	0		
	3	切れ・こすれ	7	13.7%	3	飛来・落下	9	15.8%	30歳~39歳	9	18.0%	10	17.5%	-1		
	4	飛来・落下	4	7.8%	4	墜落・転落	8	14.0%	40歳~49歳	14	28.0%	12	21.1%	2		
	5	はさまれ・巻き込まれ	3	5.9%	5	崩壊・倒壊	4	7.0%	50歳~59歳	12	24.0%	17	29.8%	-5		
									60歳~	10	20.0%	11	19.3%	-1		
第三次産業	1	転倒	297	30.3%	1	転倒	287	32.7%	~19歳	18	1.9%	11	1.3%	7		
	2	動作の反動・無理な動作	186	19.0%	2	動作の反動・無理な動作	182	20.7%	20歳~29歳	85	8.8%	75	8.5%	10		
	3	墜落・転落	149	15.2%	3	墜落・転落	108	12.3%	30歳~39歳	123	12.8%	130	14.8%	-7		
	4	その他	70	7.1%	4	交通事故（道路）	77	8.8%	40歳~49歳	177	18.4%	135	15.4%	42		
	4	交通事故（道路）	70	7.1%	5	はさまれ・巻き込まれ	47	5.3%	50歳~59歳	240	25.0%	219	24.9%	21		
									60歳~	337	35.1%	309	35.2%	28		
小売業	1	転倒	69	36.3%	1	転倒	63	30.4%	~19歳	5	2.7%	1	0.5%	4		
	2	墜落・転落	36	18.9%	2	動作の反動・無理な動作	34	16.4%	20歳~29歳	18	9.6%	12	5.8%	6		
	3	動作の反動・無理な動作	23	12.1%	3	墜落・転落	28	13.5%	30歳~39歳	16	8.5%	26	12.6%	-10		
	4	交通事故（道路）	16	8.4%	4	交通事故（道路）	27	13.0%	40歳~49歳	18	9.6%	31	15.0%	-13		
	5	切れ・こすれ	13	6.8%	5	切れ・こすれ	14	6.8%	50歳~59歳	43	22.9%	55	26.6%	-12		
									60歳~	90	47.9%	82	39.6%	8		
社会福祉施設	1	転倒	79	39.1%	1	動作の反動・無理な動作	65	38.0%	~19歳	1	0.5%	0	0.0%	1		
	2	動作の反動・無理な動作	67	33.2%	2	転倒	55	32.2%	20歳~29歳	19	9.9%	19	11.1%	0		
	3	墜落・転落	13	6.4%	3	墜落・転落	10	5.8%	30歳~39歳	31	16.2%	29	17.0%	2		
	4	激突され	10	5.0%	4	その他	9	5.3%	40歳~49歳	33	17.3%	27	15.8%	6		
	5	激突	9	4.5%	5	激突	6	3.5%	50歳~59歳	43	22.5%	36	21.1%	7		
									60歳~	75	39.3%	60	35.1%	15		
飲食店	1	転倒	14	31.8%	1	転倒	20	33.3%	~19歳	7	16.3%	9	15.0%	-2		
	2	切れ・こすれ	9	20.5%	2	高温・低温の物との接触	11	18.3%	20歳~29歳	4	9.3%	6	10.0%	-2		
	3	墜落・転落	7	15.9%	3	切れ・こすれ	10	16.7%	30歳~39歳	4	9.3%	9	15.0%	-5		
	4	動作の反動・無理な動作	5	11.4%	4	動作の反動・無理な動作	4	6.7%	40歳~49歳	6	14.0%	6	10.0%	0		
	5	高温・低温の物との接触	4	9.1%	5	墜落・転落	3	5.0%	50歳~59歳	13	30.2%	11	18.3%	2		
									60歳~	10	23.3%	19	31.7%	-9		

※事故の型別について・・・上位5位までの型のみを表示しています。

※表中の太字表記について・・・事故の型別は発生数の多い2つの型を、年齢別は全業種的に発生割合が高い50歳代以上を太字で表記しています。

## 令和2年 死亡災害事例(確定)

鹿児島労働局

番号	発生年月	業種	被災時の職種	性別	年齢	経験年数	事故の型	起因物	災害の概況(速報による)
1	令和2年 2 月	林業	伐木・造林作業 者	男	60	1年	激突され	立木等	チェーンソーを使用して胸高直径約31センチメートル、樹高約19メートルの杉を伐倒したところ、予定した伐倒方向から約90度ずれた方向に倒れ、別の作業者が運転するグラブプルに当たった。その反動で伐倒木の根元部分が伐木作業者の頭部付近に激突し、その伐木作業者が伐倒木の下敷きになったもの。
2	令和2年 2 月	建設業	作業員	男	66	2年	墜落・転落	建築物、構築物	建屋の2階床部分に太陽光発電設備を取り付ける作業中、開口面の向かい側へ渡るために使用していた道板(長さ4メートル、幅20センチメートル)を付け替えのため外していた際、4枚のうち1枚目を持ちあげたところバランスを崩し、高さ約3メートル下のアスファルト面に墜落した。付替え時、墜落防止措置が取られておらず、保護帽の着用がなかった。
3	令和2年 3 月	建設業	作業員	男	79	40年	飛来・落下	立木等	倒木をチェーンソーで木の先端から約2mずつに玉切りを行っていた。最後の玉切りの際、根株部分の土の塊の重みで幹部分が地面から浮き上がり不安定な状態になったため、根株部分をグラブプルで押さえて、幹部分が地面から33度に傾いた状態で根株近くを玉切りしたが、切り口が離れないため、切り口を確認しようと作業員が倒木の下方向に入ったと同時に、切り口部分で折れ倒れてきた幹(長さ230cm)の下敷きとなり被災したものの。
4	令和2年 3 月	一般貨物自動車運送業	貨物自動車 運転者	男	53	12年	墜落・転落	建築物、構築物	農場内において、被災者はバルク車から高さ約6mのサイロ上部の投入口に飼料を入れる作業を行っていたが、サイロ脇の地面で頭部から血を流して倒れているところを発見されたもの。発見時、被災者は墜落制止用器具を装着しておらず、ヘルメットが外れていた。
5	令和2年 4 月	製造業	作業員	男	62	23年	有害物等との接触	異常環境等	屋外に設置されている原材料の発酵用タンクの上において、発酵状況を確認するためのマンホールが全開の状態、当該マンホールに被さっていた状態の被災者を同僚が発見したものの。

番号	発生年月	業種	被災時の職種	性別	年齢	経験年数	事故の型	起因物	災害の概況(速報による)
6	令和2年 4 月	建設業	作業員	男	70	30年	激突され	立木等	伐倒木(高さ約8m、胸高直径60.8cmの枝払い前の雑木)を掘削用バケットを装着したドラグショベルで移動して仮置きしたところ、当該伐倒木が斜面を2メートル程度滑り落ち、下方にいた被災者に激突して被災したものの。
7	令和2年 5 月	林業	作業員	男	52	13年	崩壊・倒壊	立木等	山林の伐倒作業を一人で行っていた被災者が夕方になっても帰ってこないため、代表者の配偶者が現場付近に捜しにいったところ、オープンキャビン型の解体用機械の運転席に座ったまま上半身が左手側に倒れ込み、上部旋回体の左側面部分と倒木との間に頭部が挟まれた状態の被災者を発見したものの。
8	令和2年 5 月	新聞販売業	配達員	男	60	7年	交通事故(道路)	バイク	原付バイクを運転して新聞配達中、配達先の施設から片側1車線の国道に出た直後、被災者の右方向から走行してきた乗用車と衝突して反対車線側に転倒し、反対車線を走行してきた乗用車にはねられたものの。
9	令和2年 5 月	燃料小売業	販売員	男	66	1年	墜落・転落	通路	セルフ式ガソリンスタンドで勤務する労働者が、同敷地の南西側に隣接する深さ1.1メートル、幅61センチメートルの側溝に墜落し、死亡したものの。
10	令和2年 7 月	警備業	作業員	男	68	1年	おぼれ	水	フェリーターミナルにおいて、係留ロープの脱着、車両誘導作業を行っていた労働者が、フェリー到着時に係留ロープ作業箇所になかったことから、同僚が捜索したところ、海面にうつぶせの状態で見つかったものの。
11	令和2年 7 月	新聞販売業	配達員	男	63	7年	おぼれ	水	被災者は、災害発生当日の午前3時頃、新聞配達の業務のために自宅を出て配達先に向かったが、その後行方不明となり、8日後の7月14日午前10時半頃、配達エリア内にある川がつながる下流域において遺体で見つかったものの。 被災者が配達を担当する地域は、午前3時から6時までの3時間雨量が約120ミリであった。
12	令和2年 7 月	その他の水産業	作業員	男	37	8年	おぼれ	水	沖合にある養殖用の生け簀の応急措置を行うため、潜水器を装着して潜水作業を行っていた。10分間経過しても浮上しないため引き揚げたところ、圧力調整器が外れた状態で意識不明の被災者を発見したものの。

番号	発生年月	業種	被災時の職種	性別	年齢	経験年数	事故の型	起因物	災害の概況(速報による)
13	令和2年 9 月	一般貨物自動車運送業	貨物自動車運転者	男	58	5年	交通事故(道路)	トラック	被災者が運転する3トントラックが直進し、交差点に進入したところ、対向車線から右折してきた軽自動車と衝突した。被災者のトラックはその衝撃で道路脇にある街路樹に衝突し全身打撲により死亡したものの。
14	令和2年 9 月	その他の金属製品製造業	板金工	男	50	29年	交通事故(道路)	トラック	機器の搬入と設置を終え、帰社するため高速道路を走行中、トンネル内の非常停止帯で車両が左側に寄り、そのままトンネル壁に激突したものの。